

# The Y's Men's club of KUMAMOTO

Affiliated with the international association of Y's Men's clubs, the service club to the YMCA.  
C/O KUMAMOTO YMCA 1-3-8 SHINMACHI KUMAMOTO 〒860-004 JAPAN



2015年9月号

国際会長主題	「信念のあるミッション(使命・目標)」	"Mission with Faith"	Wichian Boonmapajorn (Thailand)
スローガン	「恵みを数えよう」	"Count Your Blessing"	
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」	"Through Love, Serve"	Edward K.W. Ong (Singapore)
スローガン	「まず自分から始めよう」	"Let it Begin with Me."	
西日本区理事主題	「あなたならできる!きっとできる」	"You can do it! Yes, you can!"	遠藤 通寛 (大阪泉北)
	— 生きる しなやかに さわやかに —	— Live flexibly and refreshingly —	
九州部長主題	「九州から輝くワイズダム」		五嶋 義行 (阿蘇)

熊本クラブ会長主題 人間のいのちの持つ可能性を追求しよう!  
Let's pursue the possibilities of human life! 堤 弘雄

強調月間

Menettes  
(メネット)

メン、メネットの皆様、たくさんのメネットに例会参加を呼びかけてください。  
楽しい例会にしましょう!  
メネット事業主任 遠藤 典子 (大阪泉北)

メネット会長メッセージ

メネット月間によせて

メネット会長 堤 伸子

熊本地区合同メネット交流例会が、9月7日(月)テルサで開催されました。熊本クラブからご出席いただいた7人の皆様、ありがとうございました。九州部メネット事業主査 大澤 玲子メネットのご挨拶では、西日本区メネット事業国内プロジェクトは、東日本区北東部仙台3クラブと「もりおか」クラブを支援することになり、「被災地(者)を忘れずに支援を継続する」方針が伝えられました。

東日本大震災から5年目、現地に何度も足を運び、震災後の復興状況や現状に詳しい熊本ジェーンズクラブのメンバー立野泰博ワイズ(大江教会牧師)の素晴らしい卓話に感動し、涙しました。



大澤メネット主査より、メネット事業としての被災地からの購入支援(三陸産わかめ)のご案内がありました。皆様の購入のご協力をお願いします。本日は原発事故子ども・被災者支援ネットワーク代表の阿部順子さんの卓話に感謝いたしますとともに、九州部メネット事業主査 大澤 玲子ワイズのご出席を歓迎申し上げます。

【今月の聖句】

「光は暗闇の中で輝いている。」

ヨハネによる福音書 1章5節

現在、私は障がい者の就労支援を担当しています。様々な環境や特性を持った方と雇用契約を結び継続して勤務できるように支援スタッフ、支援機関と連携をとりながら、利用する方々の支援を行っています。現代の福祉の世界で注目されている支援手法があります。それは、できるだけその人が持っている強み、潜在的な可能性や回復力に注目してそれらに焦点を当て、将来に向けて力を引き出していく(エンパワーする) ストレングス・アプローチです。これは昨年、九州ルーテル学院教授の西章男先生が卓話でわかりやすく紹介してくださいました。利用する方を助けられる弱い立場の存在とみなすのではなく、その方の力を信じ、解決につながるステップが踏めたとき、この聖句が思い出されることと思います。

(藤川 登士郎)

8月27日(木)午後6時30分より、城彩苑の2階の会議室で、続ワイズの司会により、第42回のポニーキャンプ報告会が行われました。

7名の黒のスーツを着た熊本YMCA学院児童福祉教育科の学生ボランティアリーダー(うち男子学生2名)とYMCAスタッフのプログラムリーダーの藤本さんと上村さんによる多くの写真を使ったプログラムの紹介が続きました。



阿蘇の大自然での活動の写真を見れば、その素晴らしさがよく理解できます。3年連続で参加したリーダーも多くいたことも報告されました。熊本YMCA ニュースにもその記事がありました。このプログラムへの参加により、若いリーダーの皆さんも成長していることが理解できました。短時間でしたが、充実した内容の濃い報告会でした。

今年は、マーズの影響により、日韓視覚障がい青少年スポーツ・文化交流のプログラムが中止となったことも残念なことでした。



次に、午後7時15分ころから会場を「月あかり」に移動して、同じく続ワイズの司会による熊本クラブ恒例のビアパーティが36、37名の参加によりすみました。この店の料理はホテルキャッスルが経営する店舗ということで、おいしい料理を楽しむことが出来ました。例年よりも、参加者が少なかったことは残念です。

アルコールが入ると話もはずみずみ、元気も出ます。熊本県立盲学校の菊地校長先生が、我クラブへの入会を宣言したことは嬉しいことでした。吉本寛治さん夫妻、みなみクラブの内村さん、五嶋九州部長の参加も嬉しいことでした。

続ワイズ、堤会長ともにアルコールをいっぱい(沢山)飲んで、楽しい例会となりました。



久しぶりの大型台風15号が熊本に上陸し、各地で相当な被害をもたらしましたが8月27日(木)恒例のビヤパーティが18:30から昨年同様城彩苑「月あかり」で開催されました。

今年もまず、会議室で7月23日(木)～24日(金)に開催されたポニーキャンプの報告会が熊本県立盲学校の先生方、YMCAのスタッフの皆さん、YMCA学院のリーダー達の参加の下、九州部からは五嶋部長の公式訪問を頂き開催されました。今年は日韓視覚障害青少年交流が中止となった為、ポニーキャンプの報告だけでしたがプロゼクターを使って子供達がプールで水泳を楽しんでいる様子や2日目の草スキーを楽しんでいる様子が丁寧に報告されていました。

熊本クラブからプレゼントしたスイカ、ジュースには皆とても喜んでいただいていた旨御礼の言葉もいただいておりました。



30分で報告会は終了しビヤパーティは「月あかり」に異動して合計36名の参加者の中で各リーダー達の子供達との係わりの感想などで話も弾み、大変賑やかにパーティは進行し、あっという間に21:30の終了時間となりました。

リーダー達はこのキャンプを通じて学んだ貴重な体験が今後自分が社会に出てから必ず役に立つ事を信じあいながら閉会となりました。

ポニーキャンプ報告会・例会スナップ



《ポニーキャンプ(盲学生キャンプ)報告会》



《ポニーcampリーダーの皆さん(YMCA学院)》



《五嶋九州部長（阿蘇）公式訪問》



《Happy birthday》



《ビジターのご参加、有難うございました》



《和気藹藹と楽しく》



《ご家族で参加は褒め、ご参加に感謝！》

### 会長メッセージ

#### 歴史を繋ぐ

会長 堤 弘雄

私たちの熊本ワイズは、熊本YMCAの創立1948年の約1年後の1949年（昭和24年）8月18日に正式に加盟認証を受けています。設立当時の熊本ワイズの顔ぶれは、熊本YMCAの役員と同じ顔ぶれだったことが記録に残っています。熊本ワイズは熊本YMCAと共に生まれ、66年にわたり熊本YMCAを支え続けた歴史あるクラブであることを誇りとしながら未来へと歴史つなぐ“今”を大切にしながら活動を続けて参りましょう！熊本YMCAの設立メンバーで元理事長であり、熊本ワイズで4回会長をされた江藤安純氏が9月9日に天に召されました。これまでのご奉仕に感謝すると共に御霊の平安をお祈りいたします。

### メネット交流例会に参加して

大村 豊



9月7日(月)午後7時、熊本テルサの3階で熊本地区メネット交流例会がもたれて、熊本クラブからは、堤メネット会長以下7名が参加しました。

広い部屋に12のテーブルが配置され、約110名の参加者がいました。これだけの大人数で、女性が多数の会合は、壮観というものでした。遠藤通寛西日本区理事、遠藤典子メネット主任も来熊していただきました。感謝です。



卓話は、ジェーンズクラブの立野泰博メンによる「となりびとは寄り添いびと」という題の「東日本大震災、その後の復興と現状」という題でした。

震災直後の現地の活動から現在に至るボランティアの皆さんやボランティア活動をした宗教家の様子を、スライドを使っての報告ですが、大川小学校のお話しなどは何回も聞くのですが、余りにもひどい被害で言葉を失います。あれから4年半が経過しました。



今年度の西日本区のメネットの事業計画は、「東日本大震災を振り返り、そして今後メンと共にできることを一緒に考えましょう！」というのですが、出来るだけの奉仕をしたいものです。立野メンの長期間にわたる活躍にも驚きました。

西日本区理事の挨拶、五嶋九州部長の挨拶や亀浦ワイズからの、4月の「オールYMCAデー・チャリティ駅伝」の献金など多くのプログラムがありました。

我クラブにとっても刺激的な一日でした。熊本クラブも出来る範囲で活動しましょう。



## メネット事業へご協力をお願い

メネット事業主任 遠藤 典子

国内プロジェクトの一助として三陸産わかめの販売をはじめました。

販売により、被災地の物品の購入と共に、ご購入によるご寄付を被災地の北東部で活動されておられます「もりおかクラブ」、「仙台クラブ」、「仙台青葉城クラブ」、「仙台広瀬川クラブ」にお届けすることにより、更なるご活躍の一助になればと思います。各部、各クラブに於かれましては、被災地からたくさんのお品を取り寄せられてご支援されておられます。重複される場合も御座いますでしょうが、今回の「わかめ」は、大船渡市赤崎町鳥沢に御座います鎌田水産(株)のご協力をいただいております。鎌田水産(株)の会長、社員の皆様にもお会いし、被災地支援活動のお話をさせていただきました。大船渡市は、サンマ漁、カキ養殖、ホタテ貝養殖が盛んです。現在湾内の養殖設備は大変な勢いで復旧しております。これらの漁の他に、お仕事として日本養殖わかめ発祥の地のわかめ作りにも力を注がれておられるようです。少しでもお役にたてればと思います。

- \* 九州部メネットアワー  
10月17日(土) 11:00~12:30  
阿蘇プラザホテル

## BF 代表募集の件

今期15-16年度のアジア地域(西日本区)からのBFデリゲートが次のように募集されております。

- \* フルグラント 2コース
  1. BF 16/17-02  
日時 2017年5月  
カナダ/カリビアン地域訪問  
内容 クラブ訪問  
入国 フレデリクトン(カナダ)  
出国 フレデリクトン(カナダ)
  2. BF 16/17-03  
日時 2017年1月10日~2月2日  
インド地域  
内容 クラブ訪問  
入国 ハイデラバッド(インド 1/10)  
出国 ハイデラバッド(インド 2/2)

- \* パーシャルグラント  
BF 16/17-17-19  
2016年国際大会(台湾 台北市)への交通費補助650スイスフランが支給されます。アジア地位から3名。

熊本クラブは、BF100%を長年にわたり達成しております。ご希望の方は、会長や交流委員にご相談ください。あらためて中井 伸一 国際・交流主任より九州部長に案内があります。

熊本 Ys&YMCA 感動史

## 災害や艱難が大きな飛躍へ

吉本 貞一郎

9月10日、茨城・栃木・宮城の各地域に甚大な水害(洪水被害)が発生しました。テレビでは、常総市の鬼怒川堤防の崩壊と救助活動が放映されました。被災への心からのお見舞いと共に、これからの生活再建へのこと等を思うと心が痛みます。一日も早い復旧を祈りたいと思います。

戦後間もなく設立された熊本 YMCA は、その後、数年のうちに二度の水害を経験していますが、その災いが熊本 YMCA の転機となっています。

熊本ワイズは、設立当初、熊本 YMCA 役員と同じ顔触れであり、その活動は例会での「使用済み切手の整理」、Y職員にも苦勞をかけたようです。その熊本クラブが奉仕活動で目覚めたのは、1953年(昭和28年)6月の水害(死者行方不明者537人)でのYMCA「社会奉仕班」だったようです。直接の被害の他に、すべてのYMCA事業での会費・授業料の未徴収や阿蘇キャンプのキャンセル等、相当な額になったようです。その状況に全国のYMCAや地域から支援の手が差し伸べられています。

その激励によって、熊本 YMCA では、被害の少なかった学院生や会員30名程が「社会奉仕班」を結成し、昼間は廃土作業で教会堂・幼稚園・会員宅をまわり、夜は罹災者慰問で子供たちへのレクリエーションを行っています。また、8月には罹災家庭の子供たちを阿蘇キャンプに招待し、夏休みの学習のできる環境でキャンプ生活を提供しています。

ちなみに、これを機に紫苑会の理解を得て、紫苑会館を譲り受けています。

この経験が、1957年(昭和32年)7月の水害では、熊本ワイズの素早い対応となっています。熊本ワイズが、YMCAと協力して、被災児童夏季学校や被災児童招待キャンプを企画しています。市長や教育長をはじめとする行政、報道機関、地域の有力者を夜遅くまで回り、その実施協力と学用品の寄贈をお願いし、8月の開始では600点の学用品を小中学生に贈っています。

大阪クラブをスポンサーに遠隔地に設立された熊本クラブは、ワイズとして何をして良いかわからなかったと思いますが、熊本ワイズの気付きと奉仕への第一歩がこの大水害だったかもしれません。

「1957年(昭和32年)7月の水害の際は、熊本ワイズメンズクラブの奉仕活動がすばらしく、ワイズ運動の盛り上がりを見ることができた。また、このことを契機にワイズメンとYMCAとの協力関係が密接なものとなり、キャンプリーダー養成をはじめ福祉キャンプの開始へと連なっていくのである。」

(熊本YMCA50年史P.110より)

茨城YMCAは、関係の深い日本基督教団水海道教会と常総市の付属二葉こども園の支援募金を開始されました。教会、二葉こども園、牧師館が約1メー

トル床上浸水し、すべての園バス(3台)、公用車、牧師車も水没し、全く使えない状態だそうです。

話は変わりますが、9月14日に阿蘇山が噴火レベル3に引き上げられました。熊本の水害がおこった1953年の4月27日には阿蘇山が噴火し、死者5名の大災害がおこっています。その前日の日曜に熊本YMCA学院が新入生の歓迎遠足で阿蘇にのぼっているのをご存じでしょうか。「静かな火口を覗き込んだことを思い出し、一日違ったら被害が我々を襲ったかもしれない」と回顧されています。

阿蘇山、口永良部島、桜島も早く平穏になってほしいものです。

\*参照

熊本YMCA50年史

P.53 「7、二度にわたった水害体験」

P.110 「4、熊本ワイズメンズクラブの軌跡(1)」

熊本連絡会議より

### 2015-2016 ワイズディ

9月9日、東部YMCAにてワイズメンズクラブ熊本連絡会議が開催されました。

岩本守弘議長をはじめ各クラブ選出のメンバーで今年度の事業、「ワイズディ」と「ひのくにフェスタ」について討議が行われました。

◎「ワイズディ」は以下のプログラムへの協力です。

スペシャルオリンピックス日本・熊本

11月22日(日)水前寺競技場

「アスリートと共に楽しもうSOユニファイド運動会」～ユニファイドで広がる友情の輪～

(協力内容) 参加と参加賞等の提供

◎「ひのくにフェスタ」

第20回西日本区大会(熊本)実行委員会のキックオフ等で検討を進める。

### 【YMCAだより】

連絡主事 藤川 登士郎

☆ 「防災ワイリンピック - 会員スポーツ大会」

9月27日(日)午前8:00より中央YMCA体育館にて行われます。今回は「防災ワイリンピック」と銘打ち、バケツリレーや搬送リレーなど防災をテーマにした競技を行いながら、YMCA会員の親睦を深めます。参加対象は、会員、家族、地域、YMCAと交流のある団体等です。皆様のご参加をよろしくお願い致します。

☆ 「台風18号常総市水害被害復興支援募金」

9月10日の台風18号により茨城県・栃木県・宮城県は甚大な水害被害を受けました。特に被害の大きかった常総市には茨城YMCAがあります。日本YMCA同盟は茨城YMCAを拠点に水害復興支援募金を開始しました。熊本YMCAの各地域YMCA、部門に募金箱を設置しております。

どうぞ皆様のご協力をお願い致します。募金期間は10月30日までとなります。

☆ 「第47回前進祭のテーマが決定しました」

11月8日(日)に実施される第47回前進祭のテーマが決定しました。テーマは「一致団結～仲間と一緒にスマイルミクス～」となります。1968年にスタートした歴史ある前進祭を今年もどうぞワイズの皆様のご協力で盛り上げていきたいと思っております。実行委員会が10月16日18:30より中央YMCAにて行われます。

☆ 「Y福祉会 黒川保育園の新園舎起工式」

阿蘇市黒川にある黒川保育園の新園舎起工式が9月26日(土)11:00より行われます。これより来年、2月の竣工にむけて新築工事に入ります。新しい黒川保育園は広大な敷地を有し、将来的には様々な分野での活用も期待できます。神様のお守りの中、安全に工事が進められますことをお祈り下さい。

### ◇◆◇ ワイズ運営メモ スケジュール

月/日 (行事)

9月

27日 熊本Y 防災ワイリンピック

10月

6日 第20回区大会実行委員会(東部Y)

8日 事務例会

12日 \*体育の日 ジャがいも荷降ろし

17日 九州部会(阿蘇プラザホテル)

22日 EMC例会

11月

8日 前進祭

11日 熊本連絡会議

12日 事務例会

14日 BF切手整理

### 【編集後記】

シルバーウィークをどのように過ごされましたか。好天に恵まれ、新秋の風を行楽地で感じられた方もいらっしやと思います。

でも、今年は「ラグビーワールドカップ」でしょう。若い頃、楯円のボールを追いかけていた者として久しぶりに感動の涙があふれる試合を楽しむ事ができました。ラグビーもプロ化され、アマチュアリズムの良さが無くなり、徹底したパフォーマンスの競い合いのようになっていました。(スポーツだから当たり前ですが。)でも、今回は精神的な強さや必死さなど、力比べではない部分も強く感じます。ちなみに、多くの選手がアマチュアのウルグアイにも興味を持っています。(吉本)

**15-16年度 新たな会員 5名を**

**1人が1人を!**

**積極的にビジターをお誘いください。**

'15-'16 熊本ワイズメンズクラブ 9月事務例会記録 抜粋  
 日時：9月10日(木)19:00~21:00 場所：熊本中央YMCA 紫恩会室  
 出席：堤 藤川 続 米倉 吉本 大村 (出席 6名)

【協議事項】

1. 例会

- 9月例会 9月24日 19~21時キャッスル 司会・食前感謝(メネット)  
 メネット例会 卓話者：阿部順子さん「東日本震災を忘れない」  
 ＊ わかめ販売(大澤主査に問合せ) ＊ 献金は、メネット国内事業へ。
- 10月例会 10月22日 19~21時キャッスル 司会・食前感謝(未定)  
 卓話者：中村陽志 牧師  
 「心の居場所がみつければ 人生はいつでもやり直せる」(堤会長依頼)
- 11月例会 11月26日 19~21時キャッスル 司会・食前感謝(未定)  
 EMC 例会 卓話候補者：荒木 合志市長(続 Ys 依頼)
- 12月ファミリークリスマス例会 12月24日 19~21時キャッスル(案)

2. 西日本区

前期区費等、納入済み。諸献金等に取組む。  
 2017年の西日本区大会 実行委員会(10/6)

3. YMCA

9/27(日)防災ワイリンピック会員スポーツ大会  
 担当：吉岡さんと立石さん 9/18切 メールやFAXで参加依頼  
 協賛金 ニコニコから¥10,000.-

4. 九州部

部会(10/17(土)、阿蘇プラザホテル)登録締切9/17  
 参加：堤 今村 続 大村 米倉 吉本 ＊交通手段等を確認。  
 メネットアワーへの対応について。

5. プリテン原稿

例会報告(続 大村) 会長通信(堤) 熊本連絡会議(堤 吉本)  
 熊本地区メネット交流会(大村) YMCA報告(藤川) ＊新連載

6. ジャガイモ

日程 10/12(月・祝)  
 じゃが¥2,000 かぼちゃ¥2,500 3種¥3,000(クラブで価格差有)  
 目標 とうや250箱 男爵420箱 かぼちゃ140箱 3種混150箱

7. その他

- EMC パンプや案内状の作成、1人が1人を、他団体に声掛け
- クラブファンド コーヒー・お米 他

【報告事項】

- 熊本連絡会議 9/9(水) 東部 Y  
 ・会費¥500x 半年報(請求あり) ・ギデオン聖書の配布 ・Ys デイ  
 11/22 SO 日本・熊本への協力 参加と賞品提供
- YMCA 地域YMCA祭の開催
- その他 ・BF 切手切り案：11月14日(土)、ウエルビー弁当  
 ・江藤安純氏(弔電) ・YMCA チャリティゴルフ 11月23日

YMCA の歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる  
 とこしえの のぞみにもえて さかえあり  
 YMCA われらまた こぞりて起たん

♪ ♪ ♫ ♪ ♫ ♫ ♪ ♪ ♪ ♪

熊本 YMCA の歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の風ぐところ  
 み神の愛といさおしを 称えて集う若人の  
 心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がれ  
 YMCA こぞれりここに

目的

ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められております。  
 それには、何をおいても先ずYMCAに対する奉仕を旨とし、YMCA とのつながりを一層強め深めるための方向づけや  
 活動方針、さらにはそのための具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕  
 することを心がけなければなりません。

みなのが一つとなってワイズダムを"きずな"をより堅く結び、ともどもYMCA 運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Today's program

2015年9月24日 19:00~21:00  
 熊本ホテルキャッスル

9月メネット例会

進行：柏尾 MNT

開会宣言・点鐘

ワイズソング「いざたて」

メネット会長挨拶

会長挨拶

ゲスト紹介 ビジター紹介

ご挨拶 大澤玲子 部メネット主査

Happy birthday & anniversary

食前感謝

廣石 MNT

(会食) 諸報告

卓話

「東日本大震災を忘れない」

阿部 順子 さん

(原発事故子ども・被害者支援

市民テーブルくまもと 代表)

ニコニコ・アピールタイム

「なごりは つきねど」

閉会挨拶・点鐘

先月例会記録 (2015.8.24)

在籍会員	28
出席会員	12
功労会員	1
広義会員	1
メイキャップ	1
出席率	50.0%
ゲスト	14
ビジター	5
メネット	4
コメント	1
例会出席総数	36
BF (ブラザーフードファンド)	
2015年度献金(現金)	
クラブファンド(ニコニコ)	
前月残高	133,830
8月献金	8,000
8月支出	0
8月残高	141,830